All Japan Junior High School Softball Championship 2014 in Ehime

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】A球場（松山中央公園北） 第1試合 **松前中学校（愛媛県） VS 桃山中学校（茨城県）**

松前中 鮮やかな逆転劇で開幕試合を制す!!

粘りの桃山中 先制及ばず!

＜松前中　逆転の3塁打を打った竹田選手＞

＜桃山中　力投する　河村投手＞

平成26年8月19日（火）　9：00〜10：48　球審：永峰　一塁：山田　二塁：渡辺　三塁：西山

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
桃山中学校（茨城県）	0	0	0	0	3	0	0			3
松前中学校（愛媛県）	0	0	0	0	4	5	X			9

【バッテリー】　＜先攻＞（桃）　●河村　達也 ー 豊島　辰樹

＜後攻＞（松）　○阪井　達佳、一色　寛太 ー 川原　雅亮

【長　打】　＜本塁打＞

＜三塁打＞　竹田　光希（松）2

＜二塁打＞

【戦　評】

両チームノーヒットで迎えた５回に試合は大きく動く。先攻の桃山中は５番豊島がバントヒットで出塁すると、敵失で進塁し、ワイルドピッチで先制。さらに敵失と１番谷田部のタイムリーヒットで２点を加えた。後攻の松前中は、先頭の９番青野がすかさずレフト前ヒットで反撃開始。後続がしぶとく四球を選び、ゴロを転がして敵失を誘って２点を返すと、５番竹田のライトオーバーの三塁打で２点を加え、一気に逆転した。６回には疲れの見える桃山中河村から竹田の２打席連続三塁打などで大量５点を奪い、勝利を決定づけた。

桃山中は毎回ランナーを許しながら、粘りの守りで奮闘したが、先制及ばず力尽きた。

【勝者インタビュー】

監督談

勝因は、３点取られてもあきらめなかったこと。試合の決め手は、打者全員が粘ったことが全て。後半は中心打者が打ってくれた。初戦は少しバタバタして、守備のミスもあったが、次はそれを修正して最初からうちのソフトボールをしたい。

主将談

あきらめずに試合ができたことが勝因。後半強い打球を打つバッティングができたことがよかった。チームとして、投手２人をバックが盛り上げることができた。次の試合は、最初から強い打球を打って、先に得点したい。

若 人 よ　蒼 き 四 国 で 熱 く な れ　！